

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第20週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：梅毒1例、百日咳10例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高鍋	70歳代	男	無症状病原体保有者	—
		日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	日本紅斑熱	日南	50歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳(性器)、 鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群	年齢群	年齢群	年齢群	症状
				5~9歳	10歳代	40歳代	60歳代	
5類	百日咳	宮崎市	3例	2	1			持続する咳、夜間の咳き込み
		都城	5例	3		1	1	
		高鍋	2例	2				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は935人(定点当たり27.1)で、前週比160%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は咽頭結膜熱と手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はなかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

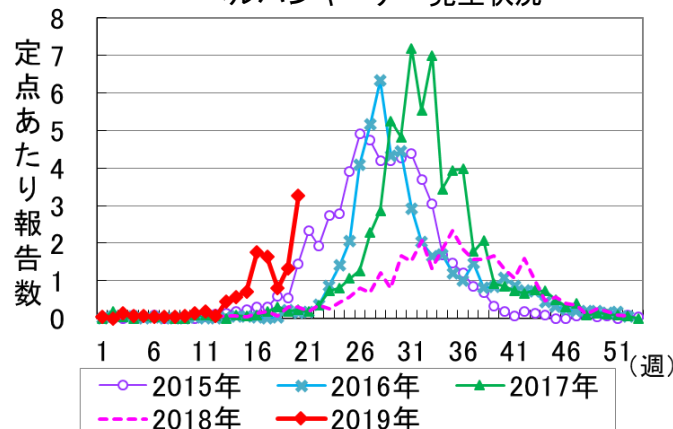
【ヘルパンギーナ】

報告数は114人(3.3)で、前週比243%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.51)の約6.4倍である。延岡(9.3)、小林(7.0)、日向(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約半数を占めている。

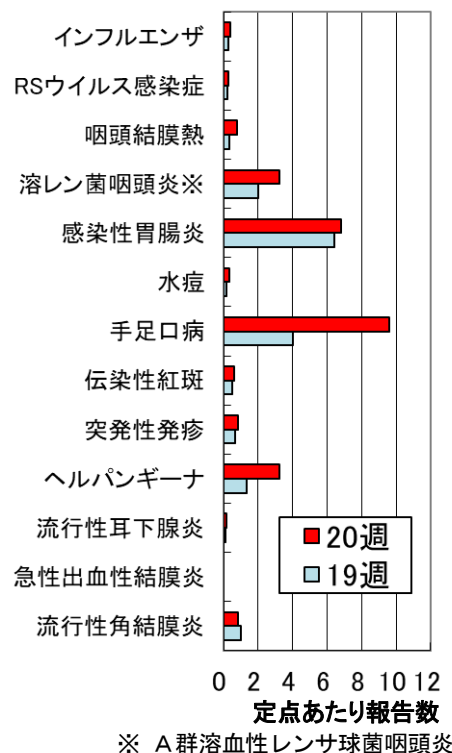
【手足口病】

報告数は337人(9.6)で、前週比241%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約3.5倍である。延岡(18.3)、日向(14.8)、日南(12.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約6割を占めている。 * 過去5年間の当該週、前週、後週

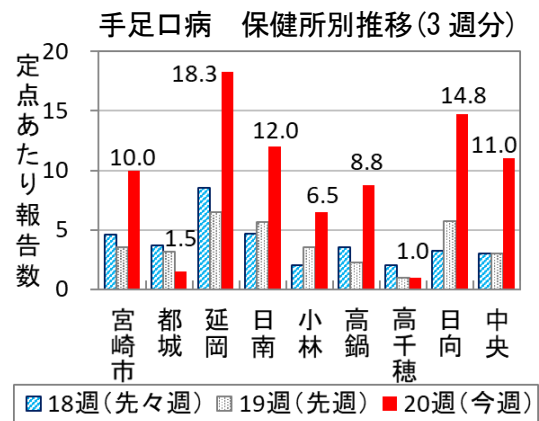
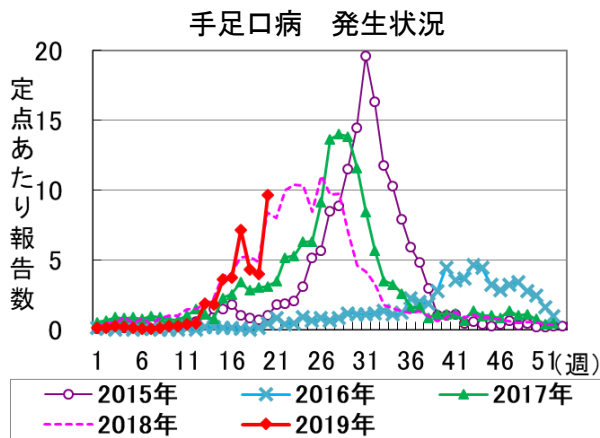
ヘルパンギーナ 発生状況 (計15週)の平均値



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(10.0)
都城	なし
延岡	手足口病(18.3)、ヘルパンギーナ(9.3)
日南	水痘(1.3)、手足口病(12.0)
小林	手足口病(6.5)、ヘルパンギーナ(7.0)
高鍋	手足口病(8.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(14.8)、ヘルパンギーナ(6.0)
中央	感染性胃腸炎(21.0)、手足口病(11.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・水痘(1.0)

口病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和元年5月20日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson (07:k:1,5)	0~4歳	男	2019.05.08	-	便	2019.05.16
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (04:d:1,7)	10歳代	女	2019.05.08	-	便	2019.05.16
<i>Salmonella</i> Braenderup (07:e,h:e,n,z15)	0~4歳	男	2019.05.13	-	便	2019.05.17

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
RSウイルス	5~9歳	女	2019.03.18	遷延性咳嗽、37.0℃	咽頭ぬぐい液	2019.05.14
RSウイルス	0~4歳	男	2019.04.04	麻疹疑い、デング熱疑い、39.1℃、上気道炎(扁桃炎)	咽頭ぬぐい液	2019.05.14
コクサッキーウイルスB4型	0~4歳	女	2019.03.19	38.0℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.05.08
アデノウイルス Not typed	5~9歳	男	2019.04.03	出血性膀胱炎、腎機能障害、尿路生殖器症状、血尿、排尿時痛	尿	2019.05.10

○発熱、上気道炎症状のある乳幼児及び遷延性咳嗽症状のある小児からRSウイルス(RSV)が検出された。RSVは、約70%の乳児が生後1年以内に初感染し、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染する。RSVは、乳幼児期において特に重要な病原体であるが、年齢を問わず生涯にわたり上気道炎や気管支炎等の顕性感染を起こす。RSVの流行のピークは冬期であるが、流行は春まで続くことが多い。

○発熱、発疹の症状のある乳幼児から、コクサッキーウイルスB4型が検出された。コクサッキーB群ウイルスは、1~6型に分類され、4型は、無菌性髄膜炎、髄膜脳炎、上気道炎、肺炎、心のう炎、心膜炎、心筋炎や原因不明の熱性疾患の患者から分離報告がある。

🇯🇵 全国 2019 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	282 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	24 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	5 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	5 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	36 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	79 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	60 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例	百日咳	164 例
	風しん	45 例	麻しん	18 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 189%と増加した(祝祭日を含む)。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

伝染性紅斑の報告数は 2,163 人(0.68)で前週比 296%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.28)の約 2.4 倍である。石川県(2.0)、富山県(1.8)、新潟県(1.6)からの報告が多く、年齢群別では 3～5 歳が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第20週(05月13日～05月19日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	15	24	12	3		1		3	1	1	3
	定点当り	0.26	0.41	0.75	0.30	0.00	0.20	0.00	0.50	0.50	0.17	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	8	10	4	3	1		2				
	定点当り	0.23	0.29	0.40	0.50	0.25	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	28	5	3	6	2		9		2	1
	定点当り	0.34	0.80	0.50	0.50	1.50	0.67	0.00	2.25	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	70	113	25	21	16	12	4	21		7	7
	定点当り	2.00	3.23	2.50	3.50	4.00	4.00	2.00	5.25	0.00	1.75	7.00
感染性胃腸炎	報告数	224	238	34	40	6	53	28	13	9	34	21
	定点当り	6.40	6.80	3.40	6.67	1.50	17.67	14.00	3.25	9.00	8.50	21.00
水痘	報告数	5	11	3	2	2	4					
	定点当り	0.14	0.31	0.30	0.33	0.50	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	140	337	100	9	73	36	13	35	1	59	11
	定点当り	4.00	9.63	10.00	1.50	18.25	12.00	6.50	8.75	1.00	14.75	11.00
伝染性紅斑	報告数	17	21	9	2	7	2			1		
	定点当り	0.49	0.60	0.90	0.33	1.75	0.67	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	29	8	8	6		2	1	1	3	
	定点当り	0.66	0.83	0.80	1.33	1.50	0.00	1.00	0.25	1.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	47	114	21	5	37	3	14	6		24	4
	定点当り	1.34	3.26	2.10	0.83	9.25	1.00	7.00	1.50	0.00	6.00	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	5		3	1					1	
	定点当り	0.11	0.14	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	5	4		1						
	定点当り	1.00	0.83	1.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～20週)

2類感染症	結核	65例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	3例	日本紅斑熱	2例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	梅毒	10例(1)
	百日咳	113例(10)	麻しん	1例
			チクングニア熱	1例
			レジオネラ症	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
			後天性免疫不全症候群	1例
			破傷風	1例

()内は今週届出分、再掲